

2026年5月28日
株式会社ワークスアプリケーションズWAP、「WorksWay 2026 三位一新」を7月28日に開催
AI時代に、人・業務・テクノロジーの新たな関係性を探る

株式会社ワークスアプリケーションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO:秦修、以下 WAP)は、ビジネスフォーラム「WorksWay 2026」を2026年7月28日(火)にオンラインで開催いたします。今年のテーマは「三位一新」。AIの進化で変化する経営環境のなか、人・業務・テクノロジーを見つめ直し、企業成長の方向性を探ります。基調講演には京都先端科学大学教授・一橋ビジネススクール客員教授の名和高司氏、特別講演には株式会社ライブニッツ代表取締役の山口周氏が登壇。AI時代に求められる経営や組織、人材像を提言いただきます。



経営と現場が共に進む“WorksWay”

「WorksWay」は、企業と個人の成長のあり方を考えるフォーラムとして、2020年より開催してきました。累計参加者数は9,000名を超え、経営層から実務責任者まで幅広い層にご参加いただいています。

注目セッション



基調講演

■タイトル: AI時代の次世代成長戦略

■講演者: 京都先端科学大学教授、一橋ビジネススクール客員教授 名和 高司氏

■概要:

先が見えないなかで、パーパスを基軸に未来を拓く経営が求められています。生成AIは、そのような非連続な成長を実現するうえで大きなパワーを発揮することが期待されます。そのためには、単に既存業務をデジタルに置き換えるだけではなく、価値共創のパートナーとして生成AIを位置づける必要があります。同時に、ヒトも「生成学習」を通じて進化していくことがカギとなります。本講演では、そのようなAI時代の次世代成

長を駆動する経営モデルを提唱します。



特別講演

■タイトル: AI・デジタル時代において、企業はいま何を問い直すべきか

■講演者: 株式会社ライブニッツ 代表取締役 山口 周氏

■概要:

AIの社会実装は、私たちの仕事を「正確に処理すること」から、「何を問うべきかを見極め、意味ある価値へと編集すること」へと大きく変えていきます。では、この変化の中で企業の競争優位はどこに生まれるのか。人材の「優秀さ」は、どのように再定義されるのか。本講演では、AI時代に求められる仕事観・組織観・人材観の転換について考えます。

このほか、経営とテクノロジーの接点をテーマにしたセッションも実施します。

CIO Lounge理事長 矢島氏をモデレーターに迎え、日清食品ホールディングス CIO 成田氏が登壇。現場主導の変革やAI活用の定着など、企業変革を進めるうえでの意思決定のリアルに迫ります。

AIの先にある、本質的な変革へ

AI活用への期待が高まる一方、テクノロジーの導入そのものが企業変革のゴールではありません。

「WorksWay 2026」では、「三位一新」をテーマに、企業競争力の源泉となる組織や業務基盤のあり方を提示します。参加申し込みは、[イベント公式サイト](#)にて受け付けています。早期申込者向けの特典も予定しています。

早期申込者特典:

<https://worksway.jp/>

6月30日(火)までにお申し込みいただいた方の中から抽選で10名様に、講演者の著書2冊セットをプレゼントいたします。

※当選者の発表は、書籍の発送をもって代えさせていただきます。

イベント概要

■名称: WorksWay 2026 三位一新

■会期: 2026年7月28日(火)

■開催形式: オンライン

■参加方法: 事前登録制。[\(https://worksway.jp/\)](https://worksway.jp/)からお申し込みください。

■協賛(五十音順): IFSジャパン、日本CFO協会

■問い合わせ: WorksWay 2026事務局 (E-Mail: worksway2026@worksap.co.jp)

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年に日本発のERPパッケージベンダーとして創業。ノーカスタマイズや無償バージョンアップなど革新的なソリューションで、国内大手企業を中心にお客様の成長を支援してきました。個が持つ可能性を信じ、企業と個の価値を最大化する「成長エンジン」となることを目指し、「作業」を「創造」に変え、「仕事」を楽しくすることを追求していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL:03-3512-1400 FAX:03-3512-1401 Email:pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当